

## 平成 25 年度 京都府医師会勤務医部会 活動報告

### 1. はじめに

永年にわたる医療費抑制政策のもと、ますます高度化、専門分化した医療情勢は大変重要な時期を迎えており、医療安全対策、医師不足と過重労働、研修医の指導や自らの生涯教育のあり方など、勤務医を取り巻く問題は多岐に渡っている。いずれの問題もこのままでは放置できない状況となってきたが、勤務医部会としては、この危機的状況を乗り切るためにも、勤務医部会幹事会を活動拠点として、種々の問題解決に向け取組み、さらに女性医師の抱える勤務環境の問題を専門に協議する場として、女性医師ワーキンググループを設け、活動している。

### 2. 部会員数

京都府医師会勤務医部会は、発足以来 30 年を迎えた。平成 26 年 1 月 1 日現在の部会員数は、1,692 名で昨年より 15 名の減となり、京都府医師会総会員中、41.0%を勤務医部会員が占めている。これは全国平均の 50.9%（13 年 8 月現在での日医集計による）と比べて低い状況にあり、京都府内に従事する勤務医の約 3 分の 2 が医師会に未加入であることを考えると、依然、組織率が低迷していると言わざるを得ない。

過去 5 年間の勤務医部会員数の推移

年	勤務医部会員数	京都府医師会総会員数	割合
平成 26 年	1,692 名	4,125 名	41.0%
平成 25 年	1,707 名	4,154 名	41.1%
平成 24 年	1,735 名	4,204 名	41.3%
平成 23 年	1,716 名	4,216 名	40.7%
平成 22 年	1,695 名	4,206 名	40.3%

※基準日：1 月 1 日現在

### 3. 部会役員に関する件

森勤務医部会長のもと、幹事長に内藤和世氏、副幹事長には安田健治朗氏、若園吉裕氏、吉田憲正氏、紀田康雄氏にご就任いただいた。今期の役員は以下のとおり。なお、任期は府医役員に準じ平成 27 年 6 月定時代議員会まで。

役職	氏名	医療機関	備考
部会長	森 洋一	森小児科医院	
幹事長	内藤 和世	京都市立病院	
副幹事長	安田 健治朗	京都第二赤十字病院	
〃	吉田 憲正	京都第一赤十字病院	
〃	若園 吉裕	京都桂病院	
〃	紀田 康雄	第二岡本総合病院	
幹事	白方 秀二	社会保険京都病院	
〃	牛嶋 千久	京都第二赤十字病院	
〃	相良 幸彦	堀川病院	
〃	新谷 弘幸	京都市立病院	
〃	吉波 尚美	京都市立病院	
〃	大内 能子	京都逋信病院	
〃	二宮 清	洛和会丸太町病院	
〃	清水 聡	京都南病院	
〃	盛岡 茂文	武田病院	
〃	大越 香江	日本バプテスト病院	
〃	谷川 徹	北山病院	
〃	森村 達夫	宇多野病院	
〃	松井 淑江	京都桂病院	
〃	岡田 憲幸	三菱京都病院	
〃	巨島 文子	京都第一赤十字病院	
〃	閑 啓太郎	愛生会山科病院	
〃	土谷 美知子	洛和会音羽病院	
〃	近藤 撰子	洛和会音羽病院	
〃	橋本 哲男	医仁会武田総合病院	
〃	秋山 祐一	京都医療センター	
〃	高尾 由美	京都医療センター	
〃	中嶋 俊彰	済生会京都府病院	
〃	宮嶋 敬	宇治武田病院	
〃	□ 橋 潤	宇治病院	
〃	新井 正弘	京都山城総合医療センター	
〃	上田 和茂	亀岡市立病院	
〃	小倉 卓	公立南丹病院	
〃	鴻巣 寛	綾部市立病院	
〃	太田 努	市立福知山市民病院	
〃	下山 恵司	京都ルネス病院	
〃	竹内 一雄	舞鶴共済病院	
〃	法里 高	舞鶴医療センター	
〃	中川 正法	京都府立医科大学附属北部医療センター	
〃	福田 和彦	京都大学医学部附属病院	
〃	小川 修	京都大学医学部附属病院	
〃	松村 由美	京都大学医学部附属病院	
〃	藤原 斉	京都府立医科大学附属病院	
〃	中西 正芳	京都府立医科大学附属病院	
〃	外園 千恵	京都府立医科大学附属病院	

#### 4. 幹事会・正副幹事長会の開催

25年度は2回の幹事会と1回の前期正副幹事長会を開催し、職場環境やキャリアパスの問題点、総会の運営等について協議した。

開催日	会合名	協議事項
2013.8.8	前期正副幹事長会	(1) 今期勤務医部会幹事会の進め方
2013.9.13	幹事会	(1) 平成25年度勤務医部会事業計画 (2) 各種委員会への委員の選出 (3) 京都医報勤務医通信の執筆依頼 (4) 平成25年度勤務医部会総会の開催 (5) 勤務医部会設立30周年記念 (6) 平成25年医学生・研修医をサポートする会の開催 (7) フリーディスカッション
2014.1.18	幹事会	(1) 平成25年度勤務医部会総会の開催 (2) 京都府医師会勤務医部会設立30周年記念 (3) 医学生・研修医をサポートする会の開催 (4) フリーディスカッション

#### 5. 女性医師ワーキンググループの開催

勤務医部会では、女性医師支援策の具体的な検討を進めるために、女性勤務医11名を幹事として委嘱し、女性医師WGを設置し、今年度は2回開催した。

開催日	会合名	協議事項
2014.9.13	女性医師WG	(1) 平成25年度第5回医学生・研修医をサポートする会 (2) ワーキンググループにおけるオブザーバーの参加 (3) 今後の取り組み
2014.1.18	女性医師WG	(1) 平成26年度第6回医学生・研修医をサポートする会 (2) 女性医師の勤務医環境の整備に関する病院長、病院開設者、管理者等への講習会の開催 (3) ホームページの作成

## 6. 医学生・研修医をサポートする会の開催

女性医師に限らず勤務医全体の問題と捉えて就労環境の改善を目指し、キャリア形成、多様な働き方などについて意見交換する場として、以下のとおり第5回医学生・研修医をサポートする会を開催した。

第5回医学生・研修医をサポートする会

と き 2014年2月22日(土) 午後2時~5時

ところ 京都国際ホテル

特別講演「iPS細胞~基礎から臨床へ」

(独)理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター

網膜再生医療研究開発プロジェクト

プロジェクトリーダー

高橋 政代 氏

パネルディスカッション

「京都中央信用金庫の取り組みについて」

京都中央信用金庫 専務理事

平林 幸子 氏

「子育て中の産婦人科医として思うこと」

京都第一赤十字病院 産婦人科

小木曾 望 氏

「妻が医学生・研修医だったら」

京都桂病院 皮膚科

木戸 祐也 氏

「医師キャリアアップのための当院の工夫と現状」

第二岡本総合病院 院長

北浦 一弘 氏

共 催 京都府医師会、日本医師会、京都大学大学院医学研究科、京都大学医学部附属病院

京都府立医科大学、京都府立医科大学附属病院

出 席=88名

## 7. 府医各種委員会委員等への推薦

今期、勤務医部会から府医各種委員会の委員として下記3委員会に3名の幹事を推薦し、各委員会にて勤務医の意見が反映されるよう意見具申していただいた。

◆医業経済・融資斡旋委員会 紀田 康雄 副幹事長

◆情報・企画広報委員会 巨島 文子 幹事

◆学術・生涯教育委員会 秋山 祐一 幹事

また、勤務医部会員数が府医会員総数の40%以上を占める中で、府医代議員104名中、勤務医の代議員数は4名、京大および府立医大の計3名を加えても計7名と、その比率は6.7%であり、勤務医の意見が府医の会務執行に届きにくい状況といえ、この点は今後の課題と言える。

## 8. 京都府医師会への入会促進

京都府医師会入会促進事業の一環として、勤務医向けの入会パンフレットを作成し、各方面で配付した。

## 9. 乳がん検診などへの出務医師の派遣

地域医療活動として、京都府医師会乳がん検診委員会と調整の上、出務医師の派遣を行っており、今年度は京都市内(2地区)において勤務医を派遣した。

## 10. 第39回京都医学会への演題発表

2013年9月29日(日)に開催された第39回京都医学会では勤務医から75題もの演題発表があり、医学会を盛り上げた。

### 11. 京都医報「勤務医通信」欄への投稿

京都医報内に「勤務医通信」コーナーを設け、幹事の先生方に執筆をお願いしてきた。テーマは執筆者の自由としており、勤務医の生の声として掲載した。

### 12. 全国医師会勤務医部会連絡協議会への参加

2013年11月9日(土)、岡山県岡山市で開催された平成25年度全国医師会勤務医部会連絡協議会(岡山県医師会主管)に内藤幹事長、若園副幹事長、紀田副幹事長および上田府医理事、事務局が参加した。協議会はメインテーマを「勤務医の実態とその環境改善 □ 全医師の協働にむけて」とし、勤務医環境やチーム医療、女性医師、地域医療人材育成など、勤務医を取り巻く諸問題について発表があり、フロアからの質疑応答も含めて、活発な議論がなされた。なお、協議会当日には下記の「岡山宣言」が提案された。

#### 岡 山 宣 言

診療科による医師の偏在や地域での医師不足は、勤務医の不足によるところが大きい。診療報酬による勤務医の負担軽減など、国としての勤務医の環境改善の施策も進められているが、それにも拘わらず勤務医の置かれている状況は依然として厳しい。

現状では、長時間の時間外勤務や、日勤に次ぐ当直そして翌日勤務などの過酷な状況があり、また大学病院では医師は教員として雇用され医療職として処遇されていない。さらに、勤務医が医師本来の業務に専念できるチーム医療が進まず、現政権下で最も重要視されている政策としての女性の活用についても、増加する女性医師の就労支援のための諸施策は十分でない。そして、これからの医療を担う勤務医は、幅広く多様なプログラムで育成して行かなければならない。

勤務医の環境改善により、多くの医師を医療機関に確保し、我が国の疲弊した医療を正常化することは、急性期医療のみならず医療体制全般の改善に大きく貢献し、勤務医と開業医との協働も一層進むものとする。国はこのような実態を良く理解し、その環境改善に努めるよう次のことを強く要望する。

- 一. 労働基準法を遵守できる医師の勤務体制の整備
- 一. 教育職である大学病院医師の医療職化
- 一. 多職種との協働により医師業務に専念できるチーム医療の推進
- 一. 女性医師の増加に対応した男女共同参画の推進と就労支援
- 一. 多様なプログラムでこれからの医療を担う医師をみんなで育てる

平成25年11月9日

全国医師会勤務医部会連絡協議会・岡山

### 13. 都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会への参加

2013年11月29日(金)、日医会館で平成25年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会が開催され、小野府医理事と事務局が参加した。協議会では「医療事故調査制度及び新しい専門医制度」をメインテーマに、日医常任理事より制度の制定に向けての議論が進められている状況や今後の課題について報告がなされた後、各都道府県において制度の制定にあたる問題点や要望などについてディスカッションが行われた。

# 平成 25 年度（第 30 回） 京都府医師会勤務医部会総会

と き 2014 年 3 月 15 日（土）午後 2 時 30 分～ 5 時 10 分  
ところ 京都府医師会館

## I. 総会

1. 開会挨拶
2. 平成 25 年度勤務医部会活動報告

## II. 特別講演

座長／京都府医師会 勤務医部会幹事長

内藤 和世 氏

### 「超高齢社会と医療」

独立行政法人 国立長寿医療研究センター 総長

大島 伸一 氏

## III. パネルディスカッション

### 「高齢者医療における勤務医のあり方について

#### ～急性期から在宅への病診連携における勤務医の役割～」

総括者 大島 伸一 氏、内藤 和世 氏

#### パネリスト

「高齢者医療について□急性期病院の立場から」

京都第一赤十字病院 リハビリテーション科部長

巨島 文子 氏

「高齢者医療における勤務医のあり方□病院から退院していただくために行うことは？」

京都九条病院 外科・消化器外科部長

北川 一智 氏

「在宅医から勤務医に望むこと」

渡辺西賀茂診療所 院長

渡辺 康介 氏

## IV. 懇親会